

ま り ぬ ま

YAMAGUCHI Nursing Association

山口県看護協会報

January

【新年号】

2014

Vol. 124

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| 2 新年のご挨拶 | 8~9 ナースセンターだよりNO.108 | 14 災害支援活動 |
| 2 受賞者紹介(秋の叙勲等) | 10 働きつづけられる職場づくり推進事業 | 15 山口・萩地域豪雨災害義援金 |
| 3 今年の顔 | 11 医療安全情報NO.21 | 15 山口県警察本部よりお知らせ |
| 4~6 支部メール(防府、萩、下関支部) | 12~13 Information | 16 ちょこっと自慢 |
| 7 ひたむきな保健師Vol.14 | 13 平成26年度の入会 | 表紙に寄せて・会員数・お知らせ・編集後記 |



厳かな戴帽式



大講堂 戴帽式



徳山看護専門学校
戴帽式



ナイチンゲール像の灯火からうつしたろうそくを手に
「ナイチンゲール誓詞」を斉唱

新年のご挨拶

会長 吉村 喜代子



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年7月28日に発生しました山口・萩地域における豪雨災害で、甚大な被害にあわれました皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早い復旧を願い、8月2日から8月30日まで、地域住民の方々や猛暑の中ボランティア活動に参加していらっしゃる方々の健康管理を目的に、多くの災害支援ナース等が被災地で活動いたしました。災害支援ナース等の活躍に、被災地の方々から感謝の声も聞かれ、看護職の皆さまを頼もしく、誇りに思います。

私たち看護職は、「人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に寄与する。」という使命の下、看護の専門職者としてさらに前進して参りたいと思います。そのために、1人1人が個人として組織として、自らの立ち位置を視野に入れ「できないから」ではなく「どうしたらできるか」と考えながら、目的と情報を共有しつつお互いに連携・補完し合っていかなければなりません。私も「看護は現場にあり」をモットーに、現場の皆さまの声を聴きながら協会運営に頑張りたいと思います。

今年は午年です。馬は「ことがうまくいく」「幸福が駆け込んでくる」などと言われ縁起のいい動物です。看護職の皆さまおひとりおひとりに幸運が舞い込み、健康で飛躍の年となりますことを祈念し、挨拶とさせていただきます。

受賞者紹介

受賞おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます。

平成25年度 秋の叙勲

瑞宝双光章 西村 容子(済生会下関総合病院 看護部長)

瑞宝単光章 石川 春美(元・山口労災病院)

今年の顔



2014年の抱負

岩国市医療センター医師会病院
山本 剛大

30代で看護師の資格を取得し、家族や先輩・同僚の看護師に支えられ、今年で4年目を迎えることができました。昨年は、プリセプターを経験し、教えることのむずかしさを実感しました。今年は、チームメンバー個々の強みを理解し、尊重し合える団結力あるチーム作りに貢献できるよう、日々仕事に励みたいと思います。



2014年を迎えて

美祢市保健センター
東野 彩

保健師として新たな一歩を踏み出し、あっという間に一年が過ぎようとしています。日々の活動の中で、改めて保健師の魅力をしみじみと感じています。今の環境に感謝し、一人ひとりとの出会いを大切にしながら、保健師として活動していきたいと思っています。



2014年の抱負

都志見病院
堀 君代

看護職として30数年、今まで続けて来られたのも職場の方々や家族の協力・理解があったからこそと感謝の気持ちで一杯です。あと1年で定年ですが、その後も出来る限り仕事を続けていきたいと思っています。



2014年の抱負

光輝病院
田村 清美

早いもので6回目の年女を迎えます。30代半ばで看護の道に進み、今も看護師として働きながら、余暇は趣味の卓球で身体を鍛えています。まだまだ体力だけは若者に負けない自信があります。初心を忘れず今年も爽やかに駆け抜けて行こうと思います。



今年の抱負

山口大学医学部附属病院
原中 雄輝

新人看護師として最初の一年を終えようとしています。今があるのは、同僚や先輩看護師の励まし、患者様の笑顔に支えられたからです。

笑顔の力に関して先人は「笑顔は愛の始まり」「薬を十錠飲むよりも、心から笑った方がずっと効果があるはず」などの格言を残されています。私も笑顔を受け取るだけでなく、自身も笑顔を絶やさずとなく、周囲に元気を与えられるような看護師となるべく精一杯努力、精進していきたいと思っています。



今年の抱負

下関市立市民病院
石田 清子

救命センターの師長となり、初めて迎える新年です。目まぐるしく変化する社会情勢もさることながら、看護「師」としての役割もより大きなものを求められるようになってきています。その中で管理者としての今後を思うと身の引き締まる思いです。今年一年、少しでもステップアップできるように頑張りたいと思います。



2014年の抱負

山口県立総合医療センター
山本 麻由

周りの方々のサポートにより、助産師4年目を迎えようとしています。日々の業務の中で悩むことも多いですが、先輩方や同期の支えのおかげでたくさんの経験をさせていただいています。今年も周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、助産師として一歩一歩成長していきたいと思っています。





支部 メール

支部活動真っ最中in 防府

防府支部

今年の支部活動もこの秋が忙しく、役員一同、忙しく走り回っています。前年度の計画を遂行しながら、来年は「こうしたらいいね、ああしたらいいね。」と意欲満々に頑張っています。役員は新旧交代で奔走しておりますが、まずは会員同士の「親睦交流会」を9月20日(金)に開催し、参加者35人、face to faceで交流を深めたところです。9月29日(日)は「国際助産師の日」のイベントでしたが、助産師の仕事のパネル展示では「こんな仕事してるんだ」という声や妊婦のアロママッサージでは「妊婦はできないと思っていました」等感嘆の声が聞かれました。ベビーマッサージはとても好評でした。110人の参加者で賑わいました。



<活動報告>

1. 支部組織の強化に関する事業で支部活動の充実を図る:「管理者交流会」

日 時: 11月14日(木) 13:30~

テーマ: 「希望の持てる職場づくりをめざして」

講 師: こころの医療センター 医療相談室

永本 隆先生

長年の医療相談の経験から、1つでも皆様にきっとお役にたてるものを持って帰っていただけたと思います。

2. 看護教育に関する事業:一般教育研修

日 時: 12月14日(土) 13:30~

テーマ: 「在宅で使用する薬剤について」

講 師: 原田訪問看護センター 原田 典子先生

山口県立総合医療センター

薬剤部副部長 白野陽正先生

3. 健康相談・啓蒙等の事業:「まちの保健室」

日 時: 毎月第3日曜日 10:00~15:00

場 所: ゆめタウン防府2F

その他、11月8日(金)~11日(月)に開催された市民文化祭「華道展」「お茶席」に併せて11月9日(土)・10日(日)の午前10:00~15:00まで防府市地域交流センター(アスピラート)2階リハーサル室入り口の前で「健康相談」が開催されました。





支部 メール

萩保健医療圏をお伝えします！

萩支部

萩保健医療圏は山口県の北部に位置し、萩の城下町を中心に海・山に囲まれた歴史ある自然に溢れた地域です。しかし、県内8医療圏の中で、人口10万人に対する医師数・看護師数が一番少なく、救急搬送患者数が65歳以上の患者を中心に増加していること、医師の高齢化が進んでいることなどから救急をはじめとする地域医療提供体制が崩壊の危機に瀕しています。そんな中、医療崩壊危機回避の為に、「萩地域医療再生計画推進協議会」が平成22年7月に発足しました。この協議会に萩支部も参加し、医療従事者の確保・救急医療体制の再構築の協議を重ねてきました。そしてこの度、地域医療の拠点として「萩市地域医療連携支援センター」、「休日急患診療センター」が完成しましたのでお知らせします。

萩市地域医療連携支援センターが完成！

このセンターでは医療課題解決に向けた諸施策の検討・協議を行うほか、予防・保健活動の強化や適切な受診の啓発など地域住民に対する啓発活動を行います。また、災害など非常事態発生時に医師・歯科医師・薬剤師・など他医療従事者同士の迅速な連携が取れるよう事務拠点の機能も合わせ待ちます。このセンターに山口県看護協会も入居し、併せて萩支部の活動の場とし、このセンター機能を看護の立場から発揮させると共に、研修などの学びの場所にも利用していきたいと思っています。



待ちに待った休日急患診療センターが完成！

救急医療提供体制においては、在宅当番医による一次救急、病院群輪番制による二次救急を24時間365日実施し、疾患等によっては圏域外の専門病院に紹介していました。萩保健医療圏域の休日の一次救急を担う診療所として、萩市民病院横に「萩市休日急患診療センター」がオープンしました。



センターでは、日曜日と祝日、年末年始における内科と歯科の一次救急を24時間体制で行っています。急な病気やケガのときの「救急医療」は命にかかわる場合もあり、萩地域の救急医療体制を維持することは重要です。また、災害発生時の一次医療や新型インフルエンザなど感染症に対応する機能もあり、活躍が期待されています。



第1回 看護教育セミナー

下関支部

平成25年10月22日(火) 18:30から、下関生涯プラザで第1回看護教育セミナーを開催しました。東亜大学医療学部教授 中田敬司先生を講師としてお招きし、「事故を起こす人、起こさない人」～事故防止のためのパーソナリティー分析について～というテーマで開催し、参加者は94名でした。

講師の中田先生は、災害医療・防災・救急・労働安全を専門とされ、幅広く活躍されている先生です。セミナー冒頭に「事故事例を検証すると、“やっぱりあいつか!” “またあいつか!” という言葉が聞かれる。」と言われ、参加者は、中田先生のユーモアあふれる話術や、わかりやすい説明、参加型の研修に引き込まれ、あっという間の90分でした。

事故は直接原因のみならず、その人自身の物の見方・考え方や判断及び行動傾向が影響すると考えられます。パーソナリティーを分析することは、自分自身の行動や判断の傾向を認識し、職場や日常生活の中のストレス回避・コミュニケーションの向上や事故防止に役立ちます。

講演の内容は、現在の労働災害の概要と原因、ストレスと事故災害との関係について、交流分析(TA)を用いてわかりやすく説明されました。その後、自分の思考・行動パターンを理解するため、参加者全員が60の質問からエゴグラムを作成しました。その後、それぞれのパーソナリティーのOKな側面、NOT OKな側面、パーソナリティーに応じた処方箋(OKな側面を高める)について説明を受けました。

セミナー後には、研修参加者(特に経験年数が若い看護師)から、「リフレッシュできた」「自身の傾向を知ることができ大変有意義な研修だった」という言葉が聞かれました。

患者の傍で医療やケアを行う看護師が、自分の性格特性や自身の起こしやすい間違いの傾向を認識した上で業務に当たることは、ヒューマンエラーによる事故を軽減する上でも非常に重要と思います。今回の学びを日々の看護に役立てていきたいと思っています。

下関支部では、今後も多くの会員の皆様が参加し、知識や交流を深められるような活動を充実させていきたいと思っています。



保健師から保健師へと技や心が伝えられ、受け継がれるネットワークづくりの一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し、応援するコーナーです！
今回は、阿武町民生課 環境保健係 斉藤三智子さんをご紹介します。

※ひたむきな保健師募集中!! 自薦他薦は問いません!

みなさんに支えられ、
チーム『元気島』は、楽しく山を越える！
～ 阿武町の元気!を目指して ～

阿武町民生課 環境保健係 斉藤三智子さん

profile

- ★血液型：A B 型
- ★家族構成：夫、義母との3人暮らし
- ★趣味・ストレス解消法：お菓子のレシピづくり
(いつかクックパッドに…)
- ★仕事：主に高齢・障害保健を担当
- ★干支：いのしし



阿武町民生課（元気島）のみなさん。下中央が斉藤さん。

保健師活動の中で大切にしていること

- ★ 元気と笑顔、そして“どうせやるなら楽しく”がモットー。環境保健係（現在、管理栄養士、保健師、係長、臨時職員の6人で構成）は阿武町の『元気島』として、こ～んな感じ（写真）で楽しく活動することを心がけている。
- ★ 先輩方が築き上げてこられた保健師活動の地盤（特に信頼）を受け継ぎ、後につなぐこと。
- ★ 猪突猛進型保健師(?)なので保健師だけで仕事をせず、他職種とチームで仕事をする。いろいろな感覚や視点、知恵とネットワークが私には必要!みなさん本当にありがとうございます!!

20年目の悩み ～保健師としての山～

- ★ 保健師になってもうすぐ20年、保健師として今の活動でいいのか、町や住民の役に立っているのか、県内で遅れていない? など不安がよぎる。先輩方が退職され、気付いたらいつの間にか一番年上。手本を示さないと、的確なアドバイスをしないと…。あ～空回り。今さら、わからない、できないなんて言えない、力量不足に悩む日々。そして、7月末から災害対応の日々、1か月後ほぼ日常の活動に戻った時、先延ばしにしている仕事如山積み。書類を広げては閉じを繰り返してばかり、仕事が全く進まない数日間。みんなはどんどん進めているのに、自分だけが止まったまま…。

そして、支えられて山を越える!

- ★ 9月の元気島メンバーとの企画会議、なぜか涙があふれてきて止められず「何から仕事をしていいかわからない」と正直に伝えた。みんなは“自分にできることは?” “大丈夫”と声をかけてくれた。すっと肩が軽くなり、少しずつ仕事も進み出し、今は日常の活動ができるようになった。20年たっても未熟、だけどそれが今の自分。背伸びをせずに自分にできる活動しようってやっと地に足が着いた。
- ★ ひとつ山を越えると新しい山が見えてくる。だけど、背伸びをせずに周りを見回すと、“何とかできるでしょ”と今は思える。

自分と向き合い、周りの人の助けがあれば、楽しく山越えできると実感している。

- ★ 今回だけでなく、元気島のメンバー、職場の仲間や上司、保健師の仲間、住民のみなさん、いつもご指導いただいている先生方、家族など、たくさんの人に支えられ、仕事の山、保健師としての山、人生の山を越えて今の自分がある。みなさんに感謝!!

後輩たちへのメッセージ(自分にも言いたい!)

- ★ 一人で保健師活動に悩んだり迷ったりしている人は、自分の周りを見回してみては?
たくさんの助っ人が両手を広げて待っているかも?
- ★ 悩みや迷いは成長痛。悩みがつかないのが、活動の証と考えましょう。(笑)

職場の仲間からひとこと

行動力と優しさ、強さを合わせ持つ元気島の頼れるリーダー! フットワークも軽く、住民からの信頼も厚い。斉藤さんが「大丈夫!できる!」と笑顔で言えば、必ず実現するパワーを持つ憧れの保健師です。

そして、たまに見せるお茶目な姿がかわいい。そんな斉藤さんがみんな大好きです。(*^_^*)

これからも一緒に阿武町のみなさんを幸せにしていきましょう!

インタビューを終えて
(インタビュアーの感想)

写真の島や植木は、この撮影のために、元気島の皆さんでご準備下さったものです。「全力投球」「誠心誠意」だからこそ、悩み、考え、立ち止まる。そして、仲間と共に一つ一つ山を越える…思いを伝えること、仲間と思いを共有することの大切さを再認識し、そして力づけられたインタビューでした。ありがとうございました!

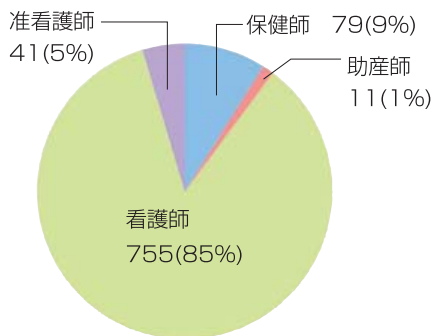
担当は、杉山(萩支部)と橋本(県職能)でした。

1. 無料職業紹介（4月～9月）

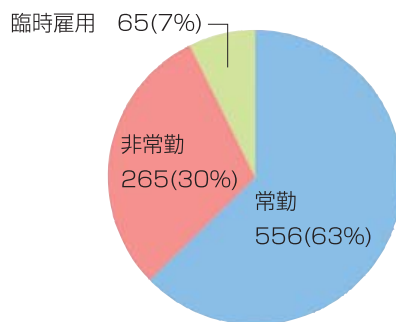
求人

求人数：886人

①免許別



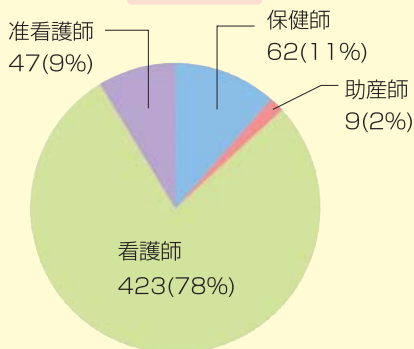
②雇用形態別



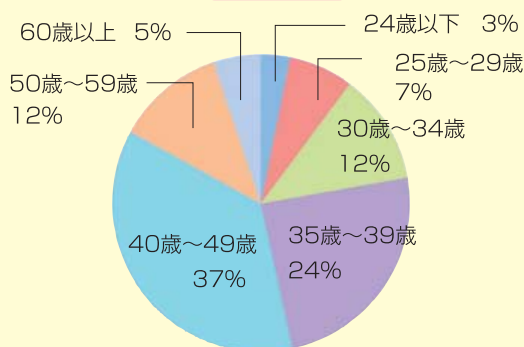
求職

求職数：541人

①免許別



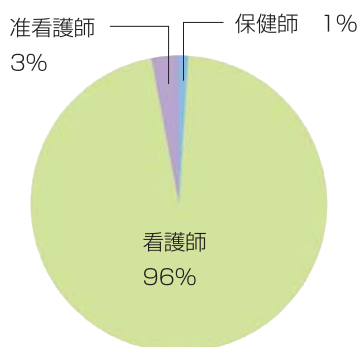
②年齢別



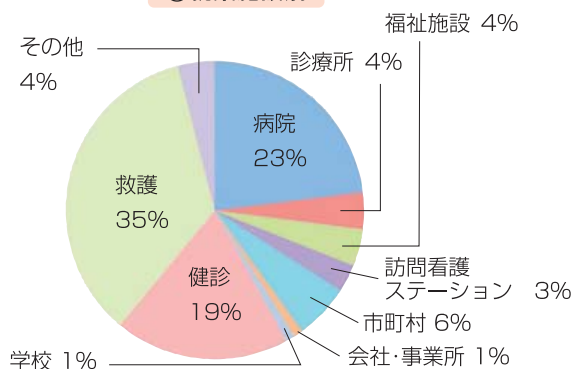
就職

就職数：100人

①免許別



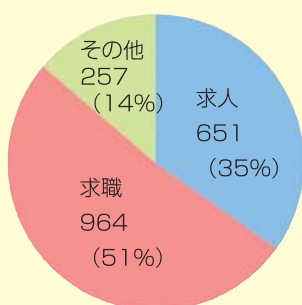
②就業施設別



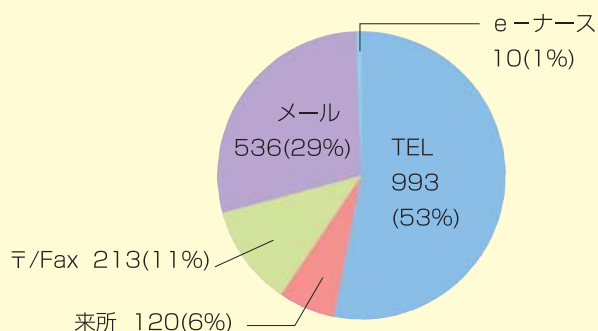
相談

相談件数：1,872人

①相談種類別



②問合せ方法別



2. ハローワーク就業相談

- 会 場** ハローワーク徳山・ハローワーク宇部
- 相談日** 毎月第3水曜日 10時～16時
- 4月～9月相談者数** 24人(徳山14人・宇部10人)
- 相談内容** 求職相談22人・進学相談2人

相談日

平成26年 1/15・2/19・3/19
ひき続きご相談をお待ちしております。



3. 再チャレンジ研修

平成25年12月13日に終了しました。

- 受講者 18名
- 実習施設
 - 病院：12施設
 - 診療所：2施設
- 就業者 6人(12月現在)

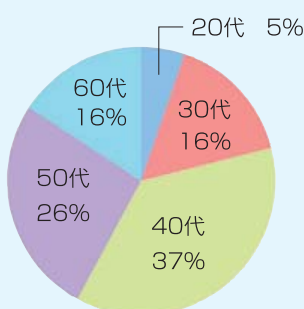
受講者の声

看護の仕事から、かなり離れていたのですが、今回の実習で再度看護の勉強をして、現場へ復職できるような気持ちになりました。
すごく不安だったので、研修に参加して良かったです。

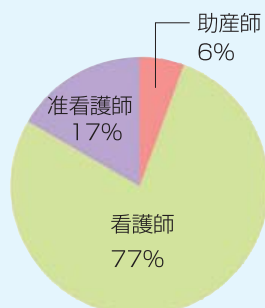


受講者状況

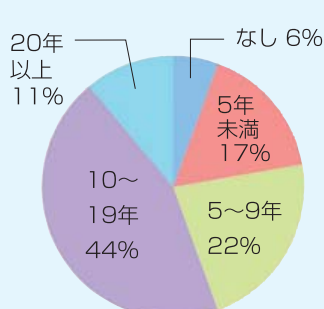
①年代別



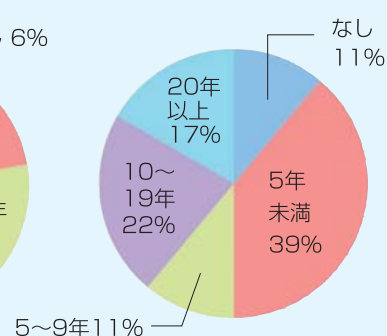
②免許別



③経験年数別



④離職期間別



登録・相談・お問い合わせ

山口県ナースセンター

TEL 0835-24-5791 **FAX** 0835-24-1230

メールで相談できます yamaguchi@nurse-center.net

e-ナースセンター

<http://www.nurse-center.net>

公益社団法人 山口県看護協会

<http://www.y-kango.or.jp>

受付 火・水・金曜日 9時～6時 ※月曜日閉館

場所 山口県看護研修会館 新館1階
(公益社団法人 山口県看護協会)

費用 無料

働き続けられる職場づくり推進事業

～病院視察「いきいきと働き続けられる職場をめざして」～

今年度アドバイザー派遣事業に参加している病院の看護師とアドバイザーが、宇部西リハビリテーション病院を訪問しました。

参加病院

美祢市立病院

看護師2名

療養病棟における看護職と介護職を含めた「急変時の対応に対する教育体制」の情報収集を視察目的にした。枠組みが異なっても他施設の看護体制・教育体制を視ることで、教育の重要性を再認識し、今後の取り組みの励みになった。

尾中病院

看護師2名

職員研修にアサーション研修を実践され、職員が自己決定でき、協働できる人材育成に効果がでていた。自病院にも取り入れ、自律した専門職業人の育成に役立てたい。また、職員のメンタルヘルスケアや保育施設も職員の立場に添った環境が整えられ、安心感に繋がっていた。



アドバイザー

小野田赤十字病院 看護部長 伊藤 泰枝

アサーティブな関わりで職員を大切に育成されており、病院理念の実現に結びついていた。その事は、派遣病院の「新人をチームで大切に育てたい」という思いを形にするために役立った。最初の一步に結び付けることができるように考えていきたい。

綜合病院山口赤十字病院 看護副部長 大林由美子

働き続けられる職場づくりには、看護管理者の管理観が大きく影響する。アドバイザーとして、管理観を引き出せるように関わりたい。

周防大島町公営企業局 教育看護部長 小方 宣子

私への課題は、看護師と介護士の協働と教育である。アサーションスキルの実践による良好な人間関係構築をめざし、教育に取り組まれていた。徹底した実践こそが、チーム協働の鍵だと確信したので、これをアドバイザー支援に活かすつもりである。

済生会山口総合病院 副看護部長 平田貴代美

管理者として、職場づくりに取り組むリーダーシップを学んだ。創造性と根拠に基づき常に改革を推し進めていく意義を、アサーティブに伝えることである。私の課題は、そのことを派遣病院へ伝えることである。

下関市立豊浦病院 副看護部長 村上 道子

何が大切か、派遣病院の方と、働きやすい職場づくりをめざしている状況を見学し、共に考える機会となった。課題達成にむけて問題が明確になったので意欲が湧いた。

●「看護職の労働状況に関する調査」についてのお礼とお願い●

昨年度は、調査にご協力をいただき有難うございました。

来年度は、当事業について再度調査を予定していますので、よろしくお願いいたします。

針刺し事故を防止しましょう

自分自身と大切なご家族、患者さんを守るために

針刺し切創による血液・体液曝露、ウイルス感染症のリスク低減を目指して



針刺しは使用中、針の廃棄中、リキャップに多く発生しています。

針刺し5大原因器材は注射針、縫合針、翼状針、薬剤充填式注射器の針、静脈留置針です。

針刺し受傷に占める職種をみると看護師が50%以上を占めています。

看護師は直接ケアを通して針刺し・切創の危険性が高いことを認識しましょう



針刺し事故防止の為のポイント



針刺し防止の心得

- * 針刺し事故防止マニュアルの遵守
- * 注射や採血、点滴抜針の業務に集中
- * 安全な手技で行えるように明るさ・作業スペースの確保
- * 針を扱う処置を行っているときはむやみに近づかない
- * 落ち着いて作業に当たる



安全器材の活用

- * 安全装置付き器材（翼状針・静脈留置針）の正しい使用方法を学び実施する

安全衛生意識の向上

- * スタンダードプリコーション（標準予防策）の実施
- * ディスポーザブルの手袋はしっかりとフィットしたサイズを選ぶ

安全な廃棄

- * 医療廃棄容器の携帯
- * 使用後の注射針は使用者がすぐその場で廃棄する
- * リキャップは原則禁止



報 告

- * 針刺し事故発生時、上司へ報告
- * 事故発生時、自施設のマニュアルに添って対応する

Information



県協会

研修会のお知らせ

1) 2月の研修会のお知らせ

開催日時（定員）	テーマ	講 師	申込 期間
2/15（土）10：00～15：00（200名）	キャリア開発と人材資源の活用	NKN（ナーシングナレッジネットワーク） エグゼクティブディレクター 北浦暁子	1/7 ～ 1/20
2/19（水）10：00～16：00（100名）	ナースのための急変時の対応	山口大学医学部附属病院 救急看護認定看護師 藤田 優子 救急看護認定看護師 山中 聖美	1/7 ～ 1/31
2/21（金）10：00～16：00（200名）	認知症看護研修（山口県委託事業）	（独）国立長寿医療研究センター 認知症看護認定看護師 藤崎 あかり	1/7 ～ 1/31

2) 3月の研修会のお知らせ

開催日時（定員）	テーマ	講 師	申込 期間
3/6（木）13：30～16：30 3/7（金）10：00～16：00（48名）	【フィジカルアセスメントⅢ】 臨床の看護実践に活かす フィジカルアセスメント	山口大学大学院医学系研究科 臨床看護学分野 教授 山勢 博彰	2/1 ～ 2/10
3/15（土）13：30～15：30（200名）	生活を豊かにするアロマセラピー	山口県立大学看護栄養学部 講師 三谷明美	

支 部

支部名	支部集会			その他の行事（1月～3月） ※行事名、日時、場所等
	月日（曜日）	時 間	場 所	
岩 国	1月16日（木）	15：00～	岩国市医療センター 医師会病院	岩国市医師会コメディカル研修会 「緩和ケア」について 圏域看護研究発表会 まちの保健室定期開催 圏域看護管理者研修
	2月8日（土）	13：00～16：30	岩国医療センター	
	2月	9：30～14：30	ゆめタウン南岩国	
	3月	時間未定	場所未定	
柳 井	2月1日（土）	13：00～16：00	周東総合病院会議室	看護研究発表会 講師 大島看護専門学校 学校長 松永正代先生 まちの保健室
	1.2.3月 第3土曜日	10：00～12：00	ゆめタウン柳井	
周 南	2月1日（土）	13：00～16：00	山口県周南総合庁舎 さくらホール	看護研究発表会 講評 山口大学大学院 医学系研究科 教授 田中 満由美先生 職場のストレスとメンタルヘルス 講師 海風診療所 院長 沼田 光夫先生
	2月8日（土）	13：30～	未定	
小野田	2月8日（土）	9：00～12：00	山口労災病院	看護研究発表会

支 部

支部名	支部集会			その他の行事（1月～3月） ※行事名、日時、場所等
	月日（曜日）	時 間	場 所	
長 門	1月 8日（水）	17：30～18：30	長門総合病院大会議室	教育研修衛星放送 BLSの基礎知識とチームメンバーへの応援要請
	1月15日（水）	17：30～18：30	長門総合病院大会議室	教育研修衛星放送 「褥瘡ケア」
	2月	時間未定	長門応急診療所2F研修室	看護師職能研修会 「褥瘡に関する研修会」
	2月	時間未定	長門応急診療所2F研修室	保健師職能研修会 研修テーマ未定
	2月12日（水）	17：30～18：30	長門総合病院大会議室	教育研修衛星放送 「口腔ケアの疑問解決」
	2月19日（水）	17：30～18：30	長門総合病院大会議室	教育研修衛星放送 「高次脳機能障害の理解とリハビリテーション」
	3月	17：45～19：00	長門応急診療所2F研修室	長門支部看護研究発表会
	3月12日（水）	17：30～18：30	長門総合病院大会議室	教育研修衛星放送 「看護の魅力」
	3月19日（水）	17：30～18：30	長門総合病院大会議室	教育研修衛星放送 「がんの症状マネジメント」
豊 浦	2月15日（土）	10：00～12：00	下関市立豊浦病院	看護研究発表 「感染予防対策」「医療安全管理」に関する実践報告
下 関	1月23日（木）	18：30～20：00	下関市生涯学習プラザ 宙のホール（多目的ホール）	看護セミナー 「フィジカルアセスメント ～フィジカルアセスメントの実際を事例を通して～」

平成26年度のご入会について

本会は、教育と研鑽による専門性に
基づいた看護の質の向上をはかり、看
護職が誇りを持ち安心して働き続けら
れる環境づくりを推進し、地域の人々の
ニーズに応える看護領域の開発・展開
を図っております。

山口県看護協会事業を発展させるた
めには皆様方がひとりでも多く会員に
なってくださることが必要です。

社会のニーズに応えられる看護をめ
ざすために会員として入会しましょう!!!

現在、平成26年度の入会受付をして
おります。手続きは、なるべく早く願
いいたします。

会費は 一人 15,000円（支部会費
を含む）です。詳細については、右記の
とおりとなります。

1 新入会員

はじめて入会する方

年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

2 継続会員

平成25年度入会していた方

増築拠出金
または入会金を
完 納

はい → 年会費 のみ 15,000円
いいえ → 年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

3 再加入会員（山口県内）

以前入会していた方

増築拠出金
または入会金を
完 納

はい → 年会費 のみ 15,000円
いいえ → 年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

4 他県から加入会員

（山口県にはじめて入会する）

年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

5 他県から加入会員

（山口県に以前入会していたことがある）

以前増築拠出金
または入会金を
完 納

はい → 年会費 のみ 15,000円
いいえ → 年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

【その他】

- ・増築拠出金対象者で完納されていない方は、入会金相当額の30,000円の納入をお願いします。
- ・30,000円に達していない方は、残金の納入をお願いします。
- ・他県にて平成26年度の入会手続きをされた方はお問合せください。
- ・他県から加入会員は入会金を減額できる場合がありますので、ご相談ください。

担当：総務課・早川 TEL 0835-24-5790/FAX 0835-24-1230 e-mail : hayakawa@y-kango.or.jp



このたびの山口県・島根県豪雨災害では、死者・行方不明者だけでなく、多くの方が床上浸水・床下浸水に見舞われました。被災された方々には、心からお見舞い申し上げますと共に、復興に尽力されている皆様には、安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

私は発災後、災害支援ナース第一班として被災地での活動を展開してきました。その後も被災地に赴くたびに、複雑に変化する環境や、人々の暮らしと健康への影響に、さらには新たな看護の課題に直面させられています。

- ・家、田畑への募る思いとは裏腹に、どうにもならない現実に我慢する日々
- ・仮設住宅での暮らしに伴うさまざまな不自由や負担による健康問題
- ・地域の創生に取り組んでいる方々の心身の負担

以上のような問題はごく一部です。被災地では誰もが無傷ではいられず、それは今も続いています。また、被災地の看護職も被災者の一人であり、家族を思いながらも、看護職としての役割や使命を背負って活動を続けています。復興は、これからが本番だともいわれていることを再認識し、支援される側、する側という関係を超えて、共により良い看護を展開することが望まれています。

災害支援委員会では、災害を経験した方や救援にかかわった方々に、その時を振り返り、今後に活かせる提言をメッセージとして発信していただけるようお願いしております。読者の皆さまも、このメッセージを通して、災害

への備えを共に考えていただけましたら幸いです。

災害支援委員会委員長

古賀 聖典

(J A山口厚生連周東総合病院)





山口・萩地域豪雨災害義援金を届けました

7月28日の記録的豪雨により、山口市及び萩市において多くの被害が発生したことに
対し、会員の皆さん及び県内医療機関の職員の皆さんより義援金が山口県看護
協会へ届けられました。義援金の総額は、4,696,136円でした。

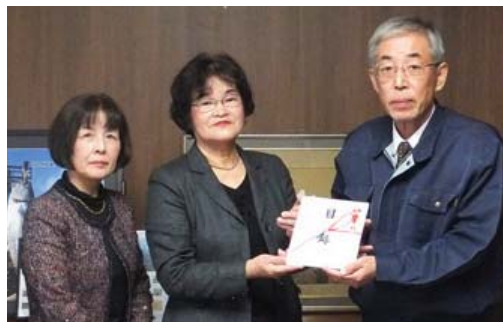
皆さんから届いた義援金は、12月3日に山口市の吉田副市长へ、そして12月16
日に萩市の三原副市长へ吉村会長と深町専務理事がお届けしました。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

(専務理事 深町)



山口市の吉田副市长へ義援金を渡しました



萩市の三原副市长へ義援金を渡しました

山口県警察本部よりお知らせ

防 犯 情 報 (No.46)

ロト6 詐欺の発生！

防府市内で、ロト6の当選番号情報提供名目の詐欺が発生しました。

必ず当たる番号は存在しません！それは、詐欺です！！

事案 概要

防府市内に住むAさん（70歳代、女性）宅にロト6当選情報提供
業者を名乗る男から、

「ロト6の当選番号を教える。試しに当選番号を教えるから、翌日
の新聞を見て欲しい。」

等と電話がありました。

Aさんが新聞を確認したところ、実際に当選しており、男の話を信
用したAさんは、宅配便で現金を送付し、

現金合計 300万円 をだまし取られました。



注 意 事 項

ロト6は、毎週月・木曜に抽選し、その模様はインターネットで配信される
ため、新聞より先に当選番号がわかります。

必ず当たる番号が事前にわかることは絶対にありません！！それは詐欺です！！



みんなでつくろう安心やまぐち
～子ども・女性・高齢者を守ろう～



「院内保育所ドルフィンキッズで子育て支援」

院内保育所「ドルフィンキッズ」は2011年4月、訪問看護ステーション「はーと厚生」とともに、職員駐車場のすぐ隣の職員宿舎「桜寮」の1F に開設しました。保育委託業者の選定や保育条件、保育料なども多職種の立ち上げ委員で検討し、ネーミングも職員より公募しました。開園当初は10名足らずの園児でしたが、現在では30名を超え定員の拡大を検討中です。夜間保育は週1日、夜勤明けや研修会時の預かり保育、また月1回リフレッシュのためにママの休日にも預かり保育をしてくれます。保育所開設のおかげで2012年度は育児のための退職者は0名となり、看護実践能力の高い中堅ママナースが看護の現場を支えています。

フラフープを使ったリトミック



みんなで近所をお散歩



保育園のお庭で菜園

表紙に寄せて

10月3日徳山看護専門学校大講堂にて、今年度入学した第14期生63名の戴帽式が行われました。看護職が男女平等に選択できる職業として確立し、看護師の世界からナースキャップが消えてからかなりの年月が経ちましたが、看護学校では毎年この時期に厳かに戴帽式が行われています。

男子学生は胸に胡蝶蘭のコサージュを、女子学生はナースキャップをつけてもらい、ナイチンゲール像の灯台から移したろうそくを手に「ナイチンゲール誓詞」を斉唱し看護師になるための決意を新たにします。

最近では看護師の活躍の現場は臨床だけではなく、3年前の東日本大震災や今年7月の萩・山口の集中豪雨では県内の多くの看護職が地域に出向き、医療ボランティアとして活躍しました。看護師を目指した学生さんが最後まであきらめずに、素敵な、そして優秀な看護師になる事を期待した1日でした。

平成25年度 山口県看護協会会員数

2013年12月10日現在

合計 9,834名
(加入率：44.6%)

保健師
463人

助産師
322人

看護師
8,224人

准看護師
825人

お知らせ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
本館1階の多目的トイレと女子トイレを改修しました。会員の皆様に気持ちよく使っていただけるよう、会館の整備に努めております。これからもご意見等ございましたら、お寄せください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
この1年、元気に乗り切りましょう。

(村田、吉井、河邊、下ノ村)